

弘大『キャリア@通信』vol.005

弘前大学学生就職支援センター

<Voice①> 『大変だったことが「楽しい」にもなります』

株式会社 オーディンフーズ

須藤 真由美さん（平成20年 人文学部卒）

<Voice②> 『“責任を持って” 仕事をしていきたい!』

株式会社 青森銀行

田中 宏弥さん（平成19年 理工学部卒）

<Voice③> 『いっぱい考え、相談して、現場を見て、頑張っています!』

東日本旅客鉄道株式会社

小角 英恵さん（平成24年 農学生命科学部卒）

●コラム『イソップ寓話』

～仕事の意義～寓話のキャリア論

●東京企業見学会が開催されました

企業見学会及び弘前大学卒業生との懇談会

●information

学内『個別企業説明会』

『ダイバーシティ経営企業』を知っていますか？

●東京（新宿）に就活の支援施設を開設

弘大生のための就職活動支援施設を

東京に開設しています（学生証の提示

で全ての施設が無料で利用できます）



キャリア@通信 Voice①

**大変だったことが「楽しい」
にもなります**

株式会社オーディンフーズ
営業部 商品グループマネージャー

すとう まゆみ
須藤 真由美さん
(平成 20 年 人文学部卒 28 歳)

**一枚のピザを囲んで皆で楽
しめる商品をつくりたい！**

●現在どのようなお仕事をされていますか。

弊社は宅配ピザ 104、テイクアウトピザ 500 (GO-MARU)、ドッグシャワーハウスなど様々な業態を管理運営している会社です。その中で私は営業部商品グループに配属されていて、メニューの開発や食材を探すことを主に担当しています。

ピザ 104 は宅配の中でも先駆的な立ち位置で、日本人に合う和風ピザをコンセプトに商品を開発しています。醤油味のピザやご飯やナポリタンをのせたピザもあります。今では一般的になっている海老やホタテのシーフードも実はピザ 104 が初めて作ったんですよ。

●商品開発はどのようにするのですか。

商品グループは 4 人体制です。結構、少ない人数です。女性は私ひとりで、あと 3 人は男性です。調理師の方もいます。お客様がどのような

ものを求めているのか、色々な情報を集めて「こういう商品をつくらう！」と進めます。『角ピザ』を開発した時は“お客様のパーティに使っていただける商品”として、一枚のピザでちょっとずつ色々な味を皆で楽しめる商品と考え、クラッカーからヒントを得てあえて四角にしました。弊社ピザの特徴は“ゴロンと大きい具材をのせる、目で見ても食事を楽しむ”です。このような形で応えられないかと考えました。

●かなり重要な責任があるのでは。

そうですね、責任は重いです。弊社は他のピザ屋さんにも先駆けて挑戦的なチャレンジをしてきているので、そういう「驚き」を提供できる商品を提案したいと思って仕事をしています。

**仕事は大変だったことの裏返
して「楽しい」にもなります。**

●仕事をしていて大変なことは。

大変だったことはたくさんありますね。角ピザの開発もそうですが、

仕事は大変だったことの裏返して「楽しい」にもなるんです。苦労した分、商品が支持されて、お客様にご満足いただけることが嬉しいと感じます。

●入社後の仕事を教えてください。

新入社員は必ず初めは店舗に配属されます。私は同期の女性と新潟県糸魚川の店舗に配属されました。もちろんピザを作ることから、お客様にお渡しすること、チラシをポスティングする営業活動など経験しました。入社時の研修で基本的な事を習うのですが、最初は仕事ができませんでした。生地を粉から手練り



開発を担当した『角ピザ』。子どもから大人まで一枚のピザを囲んで楽しめる商品。

して、丸く伸ばします。生地を上手に伸ばせないと薄い所に後で穴が開いてしまいます。焼いている途中でチーズや具が垂れてしまうんです。「せっかくここまで焼いたのに…」と思っても作り直しです。手で覚える仕事は難しいですね。

店舗で5カ月働き、その後、本社に戻って会長の秘書を3ヶ月程経験させてもらいました。販売促進の部署を半年担当し、現在の商品グループに配属されました。

●他部署の経験が今に活かされているのですか。

店舗の経験や会長秘書、販売促進の配属が今の仕事に活かしていると思います。秘書業務では経営トップの考えを側で聴けたことや、会議の場に出ることもあって会社の流れを理解することができました。販売促進ではプロモーションのやり方を経験して“商品をどう販売していくか”を知りました。

函館では市電に乗って、通勤しています。

●函館の街はどうか。

函館は良い街です。市電で職場に通勤しています。私は青森県平川市の出身なので、就職して初めて青森を離れました。あまり他の食文化を知らなかったですね。北海道では茹

でたジャガイモに塩辛をのせて食べます。美味しいですよ。地元に戻って食べる物も「これ仕事に使えるかも…」と考えてしまいます。職業病ですね。思い立ったらすぐ旅行にも行きます。

面白そうな事は“やってみる”を学びました！

●どのような学生生活でしたか。

学生時代は好きなことばかりやっていました。吹奏楽のサークルでは土曜日曜の練習もありました。バスケットボールを担当していました。日本考古学に興味を持って「やりたい」と思い切って、情報マネジメント課程で入学したのですが転籍をしました。考古学ゼミでは亀ヶ岡文化センターの立ち上げを手伝いました。先生はもう退職されましたが「面白そうな事は、やってみる」という事を学びました。卒業研究の中で亀ヶ岡文化の特徴的な紋様を津軽の伝統工芸に活かさないか、紋様パターンを作りました。今は藍染のパターンになっているようです。駅のお土産として置かれると嬉しいなと感じます。三戸の発掘作業をする機会があって、朝から晩までほっかむりで作業しました。

仕事でチャンスを与える会社に出会えると思います。

●弘大生の後輩に何かメッセージをお願いします。

学生のうちは制限を設けずに、色々なことに興味を持っておくことが良いと思います。私は考古学を勉強したけれど、今食品の仕事をしています。自分はどうだと決め付けずに可能性を信じて新しい分野にチャレンジすると良いと思います。私みたいに、素人でも仕事でチャンスを与える会社に出会えることもあると思います。

●本日は有り難うございました。

取材・インタビュー

丹藤 博孔（人文学部2年）



写真右から弘大卒業生の販売促進グループ小野さん、総務事業部の佐藤さん、会社の愛犬ダンテ君。

コラム

『イソップ寓話』 ～仕事の意義～寓話のキャリア論



学生就職支援センター
副センター長 小磯重隆

このコラムではキャリア論のご紹介をしていきます。今回は『イソップ寓話』です。イソップは前600年頃に寓話を語りながら、ギリシア、バビロニア、エジプトまでも旅して回った知恵者であったと考えられています。イソップ寓話集と呼ばれるものの成り立ちは様々で、世々代々の集積物として「イソップ風の寓話」とも呼ばれているようです。色々な話がイソップの語ったものだと伝わり、前4世紀の著述でプラトンやアリストテレスも引用しています。今回ご紹介する「3人のレンガ積み職人」もイソップ風寓話でフィクションだと考えられます。実はイソップ寓話は①意図的な作り話であること、②特定の主人公が特定の行為をすること、③道徳的教訓が目的になっていること、という3つの要件があります。寓意と呼ばれる意味があります。

～3人のレンガ積み職人～

ヨーロッパのとある町で、大聖堂の建築が行われていました。そこへ旅人が通りかかり、ひとりの職人に尋ねます。「あなたは、何をしていますのですか？」すると職人は「見ればわかるだろう、レンガを積んでいるのさ」と答えました。別の職人にも尋ねます。「あなたは、何をしていますのですか？」2人目の職人は「レンガを積んで、壁をつくっているのさ」と答えました。また別の職人にも尋ねます。「あなたは、何をしていますのですか？」3人目の職人は「街中の人が喜ぶ大聖堂をつくっているのさ。いつか子供や孫が私の仕事を誇りに思ってくれるだろう」という話です。

仕事の意義を深く考えさせられる寓話です。書籍が無く私の記憶をもとに書きました。この話、「教会」という宗教的な意味理解と、残念ながら「レンガ積み」の仕事を低く見てしまっていることに注意も必要です。とは言え、イソップの時代から「仕事の意義」を寓意に込め、大切なことだと教えています。



イソップ寓話には「アリとキリギリス」や「兎と亀」「北風と太陽」「羊飼いのいたずら」など馴染みのある話も多いと思います。例えば、アリとキリギリスの寓意は、①将来への備えをすべきこと、②努力した者は怠けた者を助けられないものだ、と考えられます。児童書とは異なる解釈も多いようです。





キャリア@通信 Voice②
“責任を持って” 仕事をしたい!

株式会社 青森銀行
市場国際部
たなか あつみ
田中 宏弥さん
(平成 19 年 理工学部卒 29 歳)

安心して海外取引をしていただく支援をしています。

●現在どのようなお仕事をされているか教えてください。

市場国際部で働いています。外国為替業務では、お客様が外国にお金を送る取引、外国から送られたお金の受け取る取引を支援しています。貿易取引の中で、信用状という「銀行の保証書」を発行する取引があります。信用状を当行が発行するなどして、スムーズに支払いが行われる手伝いを今、担当しています。主に青森県内の企業との仕事です。

●どのような業務を今まで経験されたのですか。

入行して八戸支店に配属になりました。出納業務、その後に涉外でお客様に投資信託などの商品を提案する仕事、個人のお客様や企業への融資業務など3年間で色々な経験をさせてもらいました。函館支店に異動し、函館では主に法人の融資業務を担当させていただきました。その後市

場国際部に移り、資金課、市場業務課、研修で3カ月間、三菱東京UFJ銀行で貿易取引を中心とした外国為替業務を学ばせていただき、今の仕事に就いています。

英語は得意ではありませんでした。不思議なくらいです。

●市場国際部では、やはり仕事で英語を使うのですか。

外国為替業務ですので英語は頻繁に使います。英語の「電文」を送るSWIFTという機械を使って全世界と仕事をします。相手から送られて



青森市にある本社。店舗とは異なる業務が多い。市場国際部もそのひとつ。

くるメッセージも英語ですし、電話も来ます。大学の時にもっと英語を勉強すればよかったと思っています。実は英語は得意ではなかったのですが、不思議なくらいです。英語が得意だから今の仕事をしている訳ではなくて、仕事で必要だから英語を勉強しています。

責任を持って、仕事をしなければならぬと感じました。

●学生の頃と社会人では何が異なりますか。

自分がしたことに対して責任を持たなければならぬ事だと思います。銀行に入って10円と50円の袋詰め、袋の紐を逆にしてしまった事がありました。自分の仕事が不十分だったために、計算が合わず他の人にも迷惑をかけました。お客様の資産をお預かりしているので、1円でも合わなければもちろんいけません。責任を持って仕事をしなければならぬと感じました。

大学では「数学」を勉強して いました。統計学で卒論。

●弘前大学では、どのような学生生活でしたか。

週に5日程アルバイトをしていました。少人数・個別指導の塾講師です。私は理工学部の数理システム学科だったので数学が好きで、高校生と中学生に数学を教えていました。ゼミでは統計学を勉強していましたが、ロト6の当り易い数字を探す卒業研究です。結局当り易い数字は無いので、最後は「運です」と発表して笑われてしまいました。

●学生時代の勉強が役立ちましたか。今どんな勉強をしていますか。

統計学を学んだことで直接仕事に役立ったということはありませんが、統計学の考え方は色々なところで役立っていると思います。銀行なので**会社の財務や業種の特性など**の勉強が必要でした。大変でしたがこの勉強をして、**お客様の立場になって**お話ができるようになり、融資業務が楽しくなりました。学生の頃は数学しか勉強していませんでしたが、**入行してからは**融資に関す

る財務や、法律関係や税金の勉強もしています。金融知識だけではなく、お客様の業種について学ぶことも多いです。融資業務を担当していた時、牛乳販売業のお客様との仕事で、牛乳ができる過程を勉強しました。牛乳の生産から販売まで工程が分らないとお客様とお話できません。他には、魚の種類を覚えたり色々です。金融知識以外に知っていれば知っているほど仕事に役立ちます。

りんごやお酒、海産物の海外 取引も増えています。

●青森県企業の海外取引を支援する仕事が多いのですか。

県内企業の海外事業をお手伝いしていますが、金融の取引だけではなく、私たちから勉強会など開催したいと思っています。海外取引の需要も増えています。お客様も「**取引したい**」という気持ちがあるので、**取引の仕方**、成功事例も紹介していきたいと思っています。法人営業部で海外取引を支援している部署もあります。最近では、りんごやお酒、冷凍魚や海産物の海外取引も増えています。

“色々な経験”が、いずれ役 立つと思います。

●弘大生の後輩に何かメッセージをお願いします。

将来どのような仕事に就くか分からないので、学生の頃に色々な経験をするといいですね。海外に行くとか、そういう経験をたくさんの方が仕事をする時に役立つと思います。直接ではなくても、いずれ役立つと思います。時間がいっぱいある時に色々経験してください。もちろん遊ぶことも大切だと思います。

●本日は有り難うございました。

取材・インタビュー

木村 侃寛（人文学部3年）



田中さんの職場。海外と取引する県内企業を支援する仕事を中心としたこと。



東京企業見学会が開催されました

キャリア教育「社会と私」を受講した2年生12名が参加して、3月に東京の企業を見学しました。将来、県内県外就職の希望にかかわらず広く社会を見る目的です。レンゴー株式会社、YKKAP株式会社品川ショールーム、株式会社ジジシージャパンの3社を見学させていただきました。

東京のオフィスって“どう働いているんだろう？”を実際に自分の目で見ました。JR山手線の移動は通勤で混雑していました。品川駅は新しいオフィス街で近代的です。新大久保駅は韓国料理店の多い通りでした。普段目にしない東京を体験しました。

午後7時、関東で活躍している卒業生の方々にご参加いただき、学生との懇談会が開催されました。弘大OBOGならではのお話をたくさん聞くことができました。



(株)CGCでは食品を中心とした業務の説明と実際の職場を見学しました



レンゴー(株)では段ボール事業等の説明やデザインの職場を見学しました



弘大卒業生との懇談会。関東で活躍している6名の方々にご参加いただきました←YKKAPショールームでは窓枠サッシやエクステリアの商品展示を見学しました

キャリア@通信 Voice③

いっぱい考え、相談して、現場を見て、頑張っています！

東日本旅客鉄道株式会社
秋田支社 秋田保線技術センター

こがく はなえ
小角 英恵さん

(平成24年 農学生命科学部卒 23歳)



保線技術の仕事です。工事の管理や設計、調整を担当。

●現在どのようなお仕事をされていますか。

保線技術の仕事に就いています。私は計画科にいて、工事の管理・監督、設計、部外との交渉、踏切の管理やパートナー会社との打ち合わせや調整などを担当しています。主に改良工事を担当しています。例えば、踏切には木の板が使われているのですが、木は何回も車が通るたびに減ったり歪んだりします。そのような木の踏切をコンクリートブロックに改良したり、木の枕木をコンクリートのものに交換する工事を行っています。

職場の同じ建物には、建物をつくる建築の方、電気関係の方、信号通信の方、土木の方などがいます。その中で私は保線を担当しています。

●どのような事に気を付けて仕事をしていますのですか。

工事の設計ではお金を扱うこともあります。どんな機械を使うか、作業は何人か等、お金のやり取りが

発生することなので間違いのないように仕事をします。線路は列車が通る危ない場所なので、安全を保った状態で工事する保安体制も重要です。夜間でも貨物列車が通ります。

●夜勤もあると聞きました。大変ですか。

月に1~2度夜勤もあります。工事の計画を立てる上で、実際に工事をしている現場を見に行きます。上司から勉強の意味を含めて現場を見る指示を受けます。計画科の前には線路科に所属していました。ここでは線路の歪みを検査するなど、毎日現場に出る仕事でした。夜勤も毎週担当していました。冬は除雪が大変ですね。雪で列車が止まらないよ



JR秋田駅。交通の拠点であると同時に、列車を安全に運行する拠点でもある。

うに計画的に除雪を発注しています。

「線路を良くする事が一番大切」なので頑張っています。

●男性の多い職場で苦勞することはありませんか。

計画科に女性は私ひとりなのですが、実は保線技術センター全体でも女性は私ひとりです。秋田支社全体の保線では4名の女性がいます。苦勞することと言えば、力仕事です。物のひとつひとつが重たいんです。枕木に釘を打ち込むのも力仕事です。

女性は少ないのですが、先輩の女性たちが職場環境を良くしていただいた歴史があると思っています。休憩室に畳の部屋もあります。さすがにゴロンと寝ませんけどね。駅の勤務ではもちろん多くの女性が活躍しています。専門に近いことができ、長く働ける職場を考えてJR東日本に就職しました。

●仕事で嬉しいこと、楽しいこと

を教えてください。

仕事をしながら、必ずどこかでつまづきます。私は経験も浅いので、よく指導されます。叱られるし、怒られるし、たしなめてもらいます。『線路を良くする事が一番大切』なので、いっぱい考え、上司や先輩に相談し、現場を見に行き行って頑張っています。皆さん優しいです。

楽しかったことは、新幹線「こまち」が連結していない時に開いている所を見たことですね。自分の工事がひとつ無事に終わると、これがこれから何年も残るんだな、と思って嬉しくなります。

研修で知り合った同期の友人が全国にいます。

●どのような学生生活でしたか。

農学生命科学部「地球環境工学科」農業土木コースで、魚の遊泳力について研究していました。山に雨が降って、農業用水にどう影響するか計算したり、農村の研究もしました。美術部は絵を描くという共通の趣味を持った人たちが集まっています。寝坊ばかりしていて、これが原因で落とした単位もあります。社会人になって、「時間が正確」な会社ですので、遅刻をしなくなりました。学生時代と比べ私

が一番変わったことですね。ちゃんと朝ご飯も食べています。

●新入社員の研修ではどのようなことを学ぶのですか。

新入社員研修が1カ月ありました。時間管理や安全について学びました。技術の研修が3カ月半あり、秋田の研修が1カ月、職場配属は10月でした。研修施設には実習用の線路や実習用のトンネル、実習用のホームがあります。炎天下で汗をかきながらレール交換の経験もできました。新入社員だけでレールを1本交換しました。怪我の無いよう互いに声を掛け合って作業します。それを先輩に見てもらい指導を受けます。厳しい研修でしたが乗り越える達成感もありました。工事を発注する立場として、研修を通じて色々理解できたことが良かったです。

●同期の友人が多いと聞きました。

研修期間が長かったので、同期の友人とも親しくなります。東日本全体に同期がいます。プライベートの旅行で案内をしてもらったり、研修のクラスで一緒だった宇都宮の同期の女性に連絡して「日本一の餃子」を食べに行ったりしました。同期の友人が多くできました。ネットワークが広がったことも嬉しいですね。

「青春18きっぷ」で、友人と旅行してみてください！

●弘前大の後輩に何かメッセージをお願いします。

学生時代の私は、時間が沢山あった“ありがたみ”を分っていませんでした。社会人になると、友人と休日を合わせることも難しくなるかもしれません。仲の良い友人と高速バスの旅行も楽しいし、時間がなくてできない事をたくさん経験してください。「青春18きっぷ」も使ってもらおうと嬉しいです。

●本日は有り難うございました。

取材・インタビュー

丹藤 博孔（人文学部2年）



秋田保線技術センター。職場の他、現場に向かう仕事も多いとのこと。

東京(新宿)に就活の支援施設を開設

弘大生のための就職活動支援施設を東京(新宿)に開設しています。

開室時間：12月～5月 月～金 7:00～21:00、土 9:00～21:00
(日・祝閉室)

●学生証の提示で全ての設備が無料で利用できます

共同運営：ユニバースクリエイト <http://www.unicrenavi.com/>



JR新宿駅南口から徒歩5分程。新宿サンエビル1階にあります。夜行バスが発着する新宿西口からも近い場所です。



ラウンジは自由に立ち寄り休憩したり、履歴書の準備や確認、パソコンの検索、コピー機の利用ができます。更衣室もあります。



＜こんな就職支援が受けられます＞

- ①ラウンジ利用：自由に立ち寄り休憩したり、情報交換の場として利用できます。パソコン、コピー機も使えます。
- ②就活対策セミナー：就活セミナーなど役立つ内容で開催。
- ③荷物の預かりサービス：荷物を一時預かりしてもらえます。
- ④新聞・就活関連雑誌：就活の情報を閲覧できます。
- ⑤更衣室：スーツへの着替えや身だしなみチェック
- ⑥その他：携帯電話の充電もできます。

Information

学内『個別企業説明会』

「個別企業説明会」が学内で開催されています。昨年度は129企業の説明会で延べ約1500名の学生が参加しています。事前申込制ですので「就職掲示板」又はホームページを見て、センターで参加申込をしてください。随時開催企業の情報をご案内しています。



写真上：学内個別企業説明会。
写真左：学外の仙台や東京で開催される説明会の掲示もしています



『ダイバーシティ経営企業』 を知っていますか？

平成25年度『ダイバーシティ経営企業100選』が経済産業省から発表されました。ダイバーシティ経営とは「多様な人材を活かし、その能力が最大限発揮できる機会を提供することで、イノベーションを生み出し、価値創造につなげていける経営」のことです。女性、外国人、高齢者、障がい者を含め多様な人材が活躍できる企業です。

また「なでしこ銘柄」として経済産業省、東京証券取引所が共同で“女性活躍推進”に優れた上場企業を選定しています。



編集後記



弘大『キャリア@通信』の読者は学生です。社会で活躍している弘大卒業生のお話を聞くことで職業観やキャリア意識を培ってください。大学教職員のほか、皆さんを多くの先輩達がサポートしてくれます。

左側に描かれている赤いりんごとハートはセンターのマークです。りんごは青森県を、赤いハートは学生の皆さんや企業の方々に対応する教職員の精神を象徴しています。我々も皆さんと同じ思いを持って就職活動を支援し、皆さんひとり一人、りんごのように大きく実ってほしいとの願いも込められています。

表紙の写真

函館の金森赤レンガ倉庫。商業施設として多くの観光客が訪れています。函館は洋館の多い街でもありますが、一階が和風、二階が洋風に設計された函館独自の和洋折衷住宅が見られます。取材で函館を訪れました。



木村 侃寛（人文学部3年）
意外と知らないことの多い貴重な仕事インタビューでした。先輩の話が聞けてよかったです。



丹藤 博孔（人文学部2年）
とても貴重な体験でした。先輩方のように社会に出て活躍するため、これからがんばろうと思います。



中畑 美咲（人文学部2年）
生き生きとした表情の先輩方を撮影するのはとても楽しかったです。貴重な体験ができました。

弘大『キャリア@通信』vol.005 平成26年3月28日

編集・発行//弘前大学学生就職支援センター

取材学生スタッフ//木村侃寛、丹藤博孔

撮影//弘前大学写真部 中畑美咲

